

授業科目名 (英文名)	教育方法・技術論 (Educational Method and Teaching Skill)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	2年次・前期集中
担当教員	岩本 剛	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	これからの時代に求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法及び技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。		
講義内容・授業計画	<p>本授業では、教育方法及び教育技術における内容論と方法論について講義と演習を行う。内容論としては、これからの社会を担う子どもに求められる資質・能力を育成するために必要な教育方法の基礎的理論である主体的・対話的で深い学びについての理解を深める。方法論としては、グループワークや討論を組み込みながら実際に授業を行う上で必要な技能（学習指導案の作成・教材研究・授業づくり）の習得を目指す。内容論と方法論を通して主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、情報機器の基礎的な知識の獲得と効果的に活用する能力を身につける。本授業は、受講者の実践的な資質・能力の育成を重視して展開する。</p> <p>第1回：児童・生徒の心身の発達と学習過程 第2回：教育方法の基礎理解(1)(知識・理解・思考) 第3回：教育方法の基礎理解(2)(アクティブラーニング) 第4回：教育方法及び技術(1)（教授 学習法） 第5回：教育方法及び技術(2)（情報機器の活用） 第6回：教育方法及び技術(3)（特別支援教育） 第7回：教育方法及び技術(4)（生徒指導・教育相談・キャリア教育） 第8回：教育方法及び技術(5)（道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動）第9回：教育方法及び技術(6)（各教科の指導方法：人権教育を中心に） 第10回：学習指導案の構成と基礎技術 第11回：授業分析と教育評価 第12回：学習指導案の作成（演習） 第13回：教材解釈と教材研究（演習） 第14回：授業づくり(1)(主体的・対話的で深い学びの実践)（演習） 第15回：授業づくり(2)(アクティブラーニングの実践)（演習）</p>		
テキスト	使用しない。（授業中に適宜資料を配布する。）		
参考文献	小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領		
成績評価の基準・方法	課題レポートとリフレクションカード、各回を通して討論への参加状況・授業への貢献度を総合して評価を行う。		
履修上の注意・履修要件	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、全ての授業を神戸商科キャンパスから発信し受信講義室で受講してもらう従前型の遠隔授業で実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、自宅で受講してもらうオンライン授業になる可能性があります。オンライン授業の場合は自宅で受講できる通信環境（PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境）が必要となります。いずれの授業形態になるかについての決定・連絡は履修登録後になります。</p>		
実践的教育	該当しない。		
備考	本授業計画は、当シラバス作成時点のものである。授業の内容は、受講者の理解度等の状況に応じて進めていく。したがって、各授業回と授業内容は変更することがある。		